

第 33 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨
The Minutes of the 33rd Administrative Council Meeting

- 日 時 : 平成 24 年 1 月 25 日 (水) 15:30~17:30
Date : January 25, 2012 (Wed) 15:30~17:30
- 場 所 : 政策研究大学院大学 研究会室 4A
Venue : Research Meeting Room 4A
- 出席者 :
 - [学外委員]
石田委員、小野委員、工藤委員、嶋津委員、中邨委員、林委員、早房委員
 - [学内委員]
白石学長、大山理事・副学長、恒川副学長、堀江副学長、ローズ副学長、
金本学長特別補佐、今野学長特別補佐
 - [オブザーバー]
磯谷大学運営局長
- 欠席者 :
 - [学外委員]
加藤委員

I. 審議事項 (Matters Deliberated)

1. **政策評価・独立行政法人評価委員会から国立大学法人評価委員会への意見に対する対応について (A Response to Opinions from the Commission on Policy Evaluation and Evaluation of Independent Administrative Institutions to the National University Corporation Evaluation Committee)**

磯谷大学運営局長から、政策評価・独立行政法人評価委員会から国立大学法人評価委員会への意見に対する対応について、資料に基づき説明があり、原案どおり了承された。

- ◆ 各委員からの主な意見等は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)
 - (○) 経営協議会の議事要録等が公表されない場合は、それぞれの機関でどのように責任を持つのか。
 - (△) 法律上何か責任を問われるということはないが、政策評価・独立行政法人評価委員会等から、各国立大学法人に対して公表が促されている。

2. **比較地方自治研究センターの廃止について (The Institute for Comparative Studies in Local Governance Continuation or Abolition)**

今野学長特別補佐から、比較地方自治研究センターの廃止について、資料に基づき説明があり、原案どおり了承された。

- ◆ 各委員からの主な意見等は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)
 - (○) GRIPS の研究はかなり学術的なものと思うが、地方自治というのは、たいへん重要な問題であり、GRIPS としてアドバイスできることが出てくれば社会的にも良いことである。比較地方自治の研究については、できるだけ前向きに続けてほしい。
 - (△) 比較地方自治研究そのものの重要性は明らかであり、教育面においてもいろいろなプログラムがあるが、ローカルガバナンスの観点からも、ある共通の教育も同時に行うことを検討中である。

- (○) これまで構築されてきた人的ネットワークを活用しつつ、大学として、魅力ある情報をアジアに向けて発信して行く努力を引き続きお願いしたい。
- (△) アジアに向けた情報発信という点では、本学ではアジア等の行政官を将来の幹部候補者として養成する Young Leaders Program に定期的に学生を受け入れている。
- (○) 地方自治に関する新しい動きと本センターでの研究については、どのように関係付けてきたか、あるいは関係を付けうるのか。
- (△) 本センターの研究として大都市制度についてまとめた資料もあり、英語以外の言語でも作成されている。また、学生から要望を踏まえ、教育用教材等をかなり作成してきた。

II. 報告事項 (Matters Reported)

1. 平成 24 年度運営費交付金内示の概要について (FY2012 Official Announcement of Management Expenses Grants)

磯谷大学運営局長から、本学の平成 24 年度運営費交付金内示の概要について、資料に基づき報告があった。

- ◆ 各委員からの主な意見等は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)
- (○) 国立大学改革強化推進事業として 138 億円の予算が予定されているが、GRIPS は全体的にもそれほど規模が大きくないので、この中でどういうことができるか、ぜひ工夫してほしい。

2. 「政策のための科学」について (“Science of Science, Technology and Innovation Policy” Program)

磯谷大学運営局長から、科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」基盤的研究・人材育成拠点整備事業の採択機関の決定について 1 月 17 日にプレス発表があったこと等について、資料に基づき報告があった。

- ◆ 各委員からの主な意見等は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)
- (○) GRIPS は、理工系の教員が多くいるわけではないため、これらの分野の教員も取り込んだ教育空間となるよう尽力してほしい。
- (○) GRIPS が総合拠点として「政策のための科学」プロジェクトを進めるためには、大学間の連携が非常に重要であることから、それぞれの役割分担を十分考えて進めてほしい。

3. 海外行政官等を対象とした研修について (Short Training Programs for Overseas Government Officials etc.)

磯谷大学運営局長から、海外行政官等を対象とした研修について、資料に基づき報告があった。

- ◆ 各委員からの主な意見等は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)
- (○) どの国も研修は重要と考えるが、ミャンマーについては、政府も知的インフラ・行政的インフラを学ぼうとしていると思うので、今後も大学として積極的に取り組んでほしい。
- (○) ロシアからの研修は受け入れていないようだが、何故来ないのか原因を究明してほしい。

4. シニアフェローの招聘について (Employment of a GRIPS Senior Fellow)

磯谷大学運営局長から、シニアフェローの招聘について、資料に基づき報告があった。

5. 春季学位記授与式について (Graduate Ceremony)

磯谷大学運営局長から、平成 23 年度春季学位記授与式の日程等について、資料に基づき報告があった。

以上